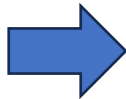


R5年度の変更

報告用シートを2種類に変更→部会における検討事項を把握しやすくする

シート名	シートの目的	全体会の取扱い
トピック報告シート	部会の検討事項をまとめて意見交換の材料とする	資料内容の説明→意見交換
活動報告シート	活動内容をまとめて情報共有	配付のみ



部会側（報告する側）

トピックの報告だけでは、部会の課題感が共有しづらい

委員側（聞く側）

経過や背景がわかりづらく、部会が何をしているのかわからない

市（プラン関係）

部会とプランの関係が見えづらい

部会報告シートの様式を見直し、特に委員側（聞く側）を意識したわかりやすい構成に変更

POINT

- ✓ トピック報告シートと活動報告シートを再統合
- ✓ 各部会の目的やプランとの関係を記載
→「そもそも部会とは?」「何がゴール?」を見える化
- ✓ 部会における検討の背景を記載する欄を追加
→「地域の声」に基づいて検討していることを見える化
- ✓ 検討から見える地域課題を記載する欄を追加
→協議会を通じた「地域づくり」を目指す法改正対応（地域課題欄の追加により「個から地域へ」を強調）

委員（特に当事者委員）の皆さまへのお願い

部会報告シートの確認にあたっては、

- ・ ご自身（の団体）の困りごとが認識されているか（←地域の声に共感できるか）
- ・ 部会の検討や取組の方向性がわかるか（←地域の声に基づく検討か）
- ・ 部会の目的やプランの方針と齟齬がないか（←部会の取組でプランが推進されるか）

を中心にご確認ください。